科目名	金融機関論 A　　Financial Institutions A						
科目担当者	藏屋 滉平　　KURAYA Kohei						
単位数	2	配当年次	2 年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科［区分］ 他学部他学科履修	経営学部・経営学科［専門教育科目　専門科目］ 他学部他学科履修〇					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	金融機関と聞くと真っ先に身近な銀行を思い浮かべるのではないだろうか。その銀行の中枢を担っている組織が中央銀行である。成長政策を計画し経済に持続的な成長を実現させるために中央銀行の存在は極めて重要である。 日本経済は、1990 年代のバブル崩壊以降「失われた 20 年」という長い停滞のトンネルから抜け出すことができないまま新型コロナウイルスによる経済ショックにみまわれ「失われた 30 年」と呼ばれる状態に陥った。この間に中央銀行はあらゆる手立てを講じ成長軌道に乗せようとしてきたことは事実である。 本講義では中央銀行の役割と金融政策についての理論的な枠組を理解することに重きを置いている。 講義で扱う論点は繋がっているため欠席をせず受講してほしい。						
授業の到達目標	①GDP がどのように決まるか理解する。 ②中央銀行の役割について理解する。 ③金融政策の効果について理解する。 ④経済関連の報道を理解できるようになる。						
授業計画・内容	1	金融機関とは					
	2	GDP 決定理論					
	3	中央銀行の役割（3 つの機能）					
	4	中央銀行の役割（伝統的金融政策）					
	5	中央銀行の役割（非伝統的金融政策）					
	6	中央銀行の独立性					
	7	中央銀行への政治的圧力					
	8	現在の中央銀行の問題点					
	9	中央銀行批判					
	10	45 度線分析					
	11	ギャップ分析					
	12	IS－LM 分析					
	13	金融政策の効果					
	14	中央銀行の今後					
	15	まとめ					
授業外学修 (事前学修)	事前に配布した資料に目を通し、次回学習する内容のイメージを持っておく。また疑問点は調べておくこと。（毎週 2 時間程度）						
授業外学修 (事後学修)	毎時間、配布資料とは別に授業内容を整理したノートを作成することが望ましい。 質問を歓迎する。（毎週 2 時間程度）						
成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法			評価比率		到達目標との対応	
	定期試験			100%		①②③④	
成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合						
教科書	資料を配布						
参考文献							
その他	公務員試験（上級行政職）の受験を考えている学生は受講を勧める。						